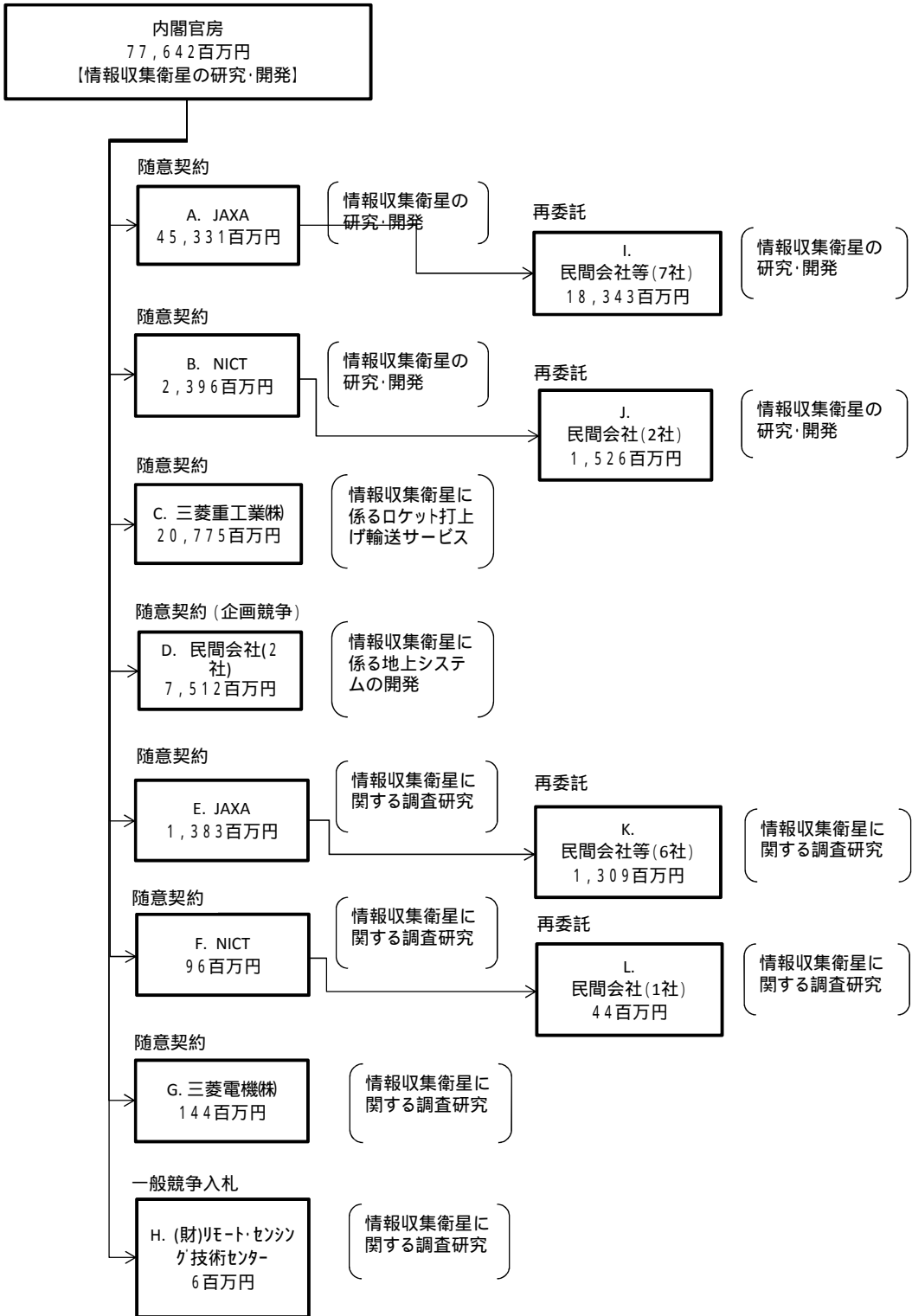


平成24年行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	情報収集衛星の研究・開発		担当部局	内閣衛星情報センター		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度		担当課室			管理部付調査官 大島 俊之		
会計区分	一般会計		施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	宇宙基本計画(平成21年6月2日宇宙開発戦略本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成10年12月の閣議決定等に基づき、「地球上の特定地点を1日1回以上」撮像するために必要な光学衛星2機、レーダ衛星2機の4機体制を実現するとともに、情報収集衛星の機能の強化を図ることにより、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理に必要な情報収集を一層強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	宇宙基本計画に基づき、情報収集衛星の4機体制の実現や情報収集衛星の機能強化のために、計画的に情報収集衛星の開発等を行っており、引き続き、情報収集衛星レーダ4号機(平成24年度打上げ予定)及び同光学5号機(平成26年度打上げ予定)の開発等を行う。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	50,300	50,216	53,814	47,102	47,941	
		補正予算	0	18,807	16,489	0		
		繰越し等	3,462	5,052	11,045	2,398		
		計	53,762	74,075	81,348	49,500	47,941	
	執行額	48,603	62,779	77,642				
執行率(%)	90.4	84.8	95.4					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	情報収集衛星の開発等を計画どおり行い、4機体制を早期に実現、維持するとともに情報収集機能の強化を図る。(平成24年度のレーダ衛星の打上げで4機体制を実現予定。)		成果実績		1		2	1
			達成度	%	100		100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	着実に情報収集衛星を打ち上げるため、計画的に研究開発を進める。また、衛星の運用等に必要地上システムの開発を継続する(平成24年度には1機の打上げを実施予定。)		活動実績 (当初見込み)		1	0	2	1
					1	0	2	()
単位当たりコスト	情報収集衛星等の開発・打上げ・運用等を総合的に実施する上で必要な経費であるため、単位当たりコストの算出は困難。		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	情報収集衛星システム開発等委託費	47,102	47,941	既存の開発については、効率化を行い経費を圧縮する。一方で、4機体制の維持のために光学7号機の新規開発に着手することによる増額。				
計	47,102	47,941						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	情報収集衛星は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理に必要な情報の収集を主な目的としており、国が実施すべき事業である。予算に関しては、宇宙基本計画に基づき、計画的に情報収集衛星の開発等を行えるように、適切に計上し、執行している。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	宇宙開発の特殊性及び安全保障上の理由から一定の者との随意契約とせざるを得ない。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	宇宙基本計画に基づき、情報収集衛星の4機体制の実現や情報収集衛星の機能強化のために、計画的に情報収集衛星の開発等を行っている。また、政府の情報収集手段として着実に成果を上げている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>情報収集衛星の開発等にあたっては、設計の共通化、既存技術の活用及び工具・実験用機材の共通化によりコストの削減に努める等、効率化を図っている。</p> <p>情報収集衛星は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理に必要な情報収集のために効果的かつ効率的に活用されており、政府の情報収集手段として成果を挙げている。政府の情報収集を一層強化するために、引き続き適切な効率化に努めながら、情報収集衛星の研究・開発を行う必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	決算結果の分析を行い、要求に反映させるべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	<p>契約額確定等を踏まえて、債務負担行為の後年度分を減額。また、既存の開発については、効率化を行い経費を圧縮するなど、経費の減額を図っている。</p> <p>なお、三菱電機(株)による過大請求事案への対応として、当該事案に係る調査状況等を踏まえて、見積りを精査し、三菱電機(株)が実施中の情報収集衛星の開発等に係る経費を減額して要求することとしている。</p>		
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する)(単
 位:百万円)

JAXA: 独立行政法人宇宙航空研究開発機構
 NICT: 独立行政法人情報通信研究機構

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. JAXA			E. JAXA		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務費	情報収集衛星の研究・開発	44,363	業務費	情報収集衛星に関する調査研究	1,368
人件費	技術者	968	人件費	技術者	14
計		45,331	計		1,383
B. NICT			F. NICT		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務費	情報収集衛星の研究・開発	2,396	業務費	情報収集衛星に関する調査研究	96
計		2,396	計		96
C. 三菱重工業(株)			G. 三菱電機(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星に係るロケット打上げ輸送サービス	20,775	役務	情報収集衛星に関する調査研究	144
計		20,775	計		144
D. 日本電気(株)			H. (財)リモートセンシング技術センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星に係る地上システムの開発	7,371	役務	情報収集衛星に関する調査研究	6
計		7,371	計		6

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

I. 三菱電機(株)			M.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星の研究・開発	11,550			
計		11,550	計		0
J. 三菱電機(株)			N.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星の研究・開発	1,512			
計		1,512	計		0
K. (株)ニコン			O.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星に関する調査研究	916			
計		916	計		0
L. 日本電気(株)			P.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	情報収集衛星に関する調査研究	44			
計		44	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JAXA	情報収集衛星の研究・開発	45,331	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NICT	情報収集衛星の研究・開発	2,396	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	情報収集衛星に係るロケット打上げ輸送サービス	20,775	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	情報収集衛星に係る地上システムの開発	7,371	-	-
2	(株)日立製作所	情報収集衛星に係る地上システムの開発	141	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JAXA	情報収集衛星に関する調査研究	1,383	-	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NICT	情報収集衛星に関する調査研究	96	-	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	情報収集衛星に関する調査研究	144	-	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)リモートセンシング技術センター	情報収集衛星に関する調査研究	6	2	77

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	情報収集衛星の研究・開発	11,550	-	-
2	NICT	情報収集衛星の研究・開発	3,415	-	-
3	日本電気(株)	情報収集衛星の研究・開発	2,786	-	-
4	(株)ライジング サイセキュリティサービス	情報収集衛星の研究・開発	253	-	-
5	HIREC(株)	情報収集衛星の研究・開発	206	-	-
6	宇宙技術開発(株)	情報収集衛星の研究・開発	81	-	-
7	(財)リモートセンシング技術センター	情報収集衛星の研究・開発	52	-	-

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	情報収集衛星の研究・開発	1,512	-	-
2	HIREC(株)	情報収集衛星の研究・開発	14	-	-

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニコン	情報収集衛星に関する調査研究	916	-	-
2	日本電気(株)	情報収集衛星に関する調査研究	176	-	-

3	三菱電機(株)	情報収集衛星に関する調査研究	151	-	-
4	三菱プレジジョン(株)	情報収集衛星に関する調査研究	45	-	-
5	宇宙技術開発(株)	情報収集衛星に関する調査研究	16	-	-
6	(財)リモートセンシング技術センター	情報収集衛星に関する調査研究	5	-	-

L.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	情報収集衛星に関する調査研究	44	-	-